



平成30年7月豪雨時の府中市の様子

命を守るために 今こそ「備える」 意識を

今年も梅雨、台風シーズンを迎えます。
平成30年7月豪雨での大きな被害が物語っているように、
最近では短時間に狭い範囲で非常に激しく降る雨が頻発しています。

家族や自らの命を守るため、今できること・やるべきことを考え、災害に「備える」意識を高めていきましょう。

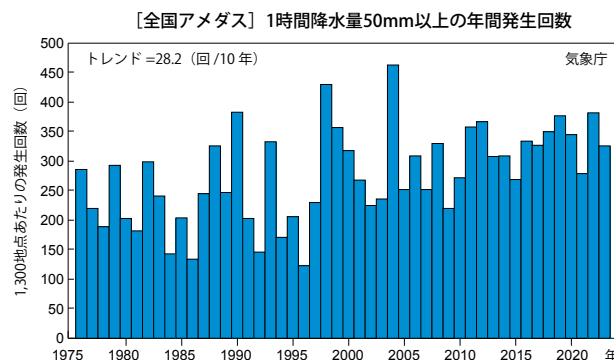
問い合わせ先 危機管理課 (☎ 4 4 - 9 1 1 9)

短時間に降る激しい雨が増えています

平成30年7月豪雨時、府中市の1時間雨量は最大37.5ミリでした。

このような時には、次のようにいつもと様子が異なります。

- ▷ 人への影響…傘をさしていても濡れる
- ▷ 屋内…寝ている人の半数くらいが雨に気づく
- ▷ 屋外の様子…道路が川のようになる



「今回も大丈夫」という意識は危険です！

災害が起こったときのことを考えて、心も備えておく必要があります。
平成30年の豪雨災害のとき、家族や地域の人々が説得しても避難をしない人もおられました。その人たちは「今回も大したことにはならないから大丈夫」といった考えがあるようでした。

もちろん何もなかったことが一番です。備えたうえで何も被害がなかったという場合が多いかもしれません。それでも何かあったときのために準備をしておくのが「防災」だと思います。

少し防災に関する記事を読んでみる、試しに地域の避難訓練に参加してみる、そういった小さなことから防災に意識を傾けていっていただきたいです。



府中市地域防災リーダー
防災士 真田 可奈子さん